



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2023年  
10月6日  
発行

第194回

「人の行く裏に道あり花の山」

～現在の株式市場を買い場と見る理由～

## 初めに

世界的な株式市場の低迷が続いています。米国の9月のインフレ率は3.7%と落ち着きを見せていますが、FRBのパウエル議長は警戒感を緩めず、いまだ利上げを続けています。加えて、民主党・共和党の党派対立も激化しており、これも米国のみならず世界の株式市場に悪影響を与えています。

## 勢いを失った日本株

日本株もそうです。今年7月には日経平均はバブル後の最高値を更新し、その後も高値圏で推移していましたが、9月15日をピークに下落に転じました。日経平均はウォーレン・ Buffett氏が来日し大手商社株などを追加投資したと思われる4月の水準まで逆戻りしていません。世界経済を悲観的に見ているがために株式市場に弱気な方が多いと思います。しかし、自分の見方は違います。こうした弱気な声が増えれば増えるほど、有望株を安い価格で購入することができるチャンスと考えています。

日本には「人の行く裏に道あり花の山」という投資格言があります。株式投資をする時に他人と同じことをしても儲からない、反対の行動をとることが大切だ、という意味です。米ウォール街にも同様の言葉があります。「人が売る時に買い、人が買う時に売れ」(Buy when everyone is selling; Sell when everyone is buying)というものです。投資家が株式投資に慎重なのは日本だけではありません。しかし、ここから来年にかけて世界経済は徐々に改善すると見えています。米国の大統領選が始まる、ということがその理由です。

## 大統領選開始で米国経済は回復へ

来年は米国で大統領選挙が予定されています。先頭を切るのは、1月にアイオワ州で行われる共和党党員集会と、2月にサウスカロライナ州で行われる民主党予備選です。続いて各州で次々と予備選挙・党員集会が行われることになります。

皆さんご存じのように、米国の大統領選では巨額の資金が飛び交います。自分はこれを「世界最大の公共事業」と考えています。通常、大統領選への動きはもっと早くに始まっていたと思いますが、今回は遅れているようです。恐らく、昨年から今年にかけて金融機関の破綻が相次ぎ、政府閉鎖の危機が高まったことなどで、大統領選どころではなかったのかもしれませんが、しかし、そういった状況はある程度収まっており、ここから株式市場は大統領選に注目することになるでしょうし、米国及び世界経済は回復に向かうと予想しています。



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。